

「災害が起きたら守るのは自分自身」 ～地域活動シンポジウム開催～

平成24年1月21日（土）、生涯学習センターけやきにて、地域活動シンポジウムが開催されました。

今回は、東日本大震災についての発表が行われ、福島県相馬市に派遣された災害ボランティアの方の活動状況や、温泉地学研究所の方からの東日本大震災と神奈川県内地震との関係について発表が行われました。

壇上に立った発表者の熱弁ぶりに、自治会の代表者や聴衆者の皆さんも聞き入っていました。

地域活動シンポジウムとは

地域の最前線で活動している地域活動団体が、それぞれの団体の地域に果たす役割の重要性を改めて確認する機会とする目的に、（※）小田原市地域活動推進協議会、小田原市自治会総連合が主催し、小田原市の協力で毎年開催されるものです。

（1）相馬市に派遣された災害ボランティアからの報告（高須 将典さん）



高須 将典さん

はじめに、災害ボランティアで小田原市内在住の高須さんから、派遣先である福島県相馬市の様子、ボランティアで行う作業、現地の人たちの様子、今後起こりうる津波・地震などの災害に対しての備えが発表されました。

震災による津波で跡形もなくなってしまった被災地、懸命に復興に取り組む現地の人々の様子が紹介されました。

また、ボランティアで行う作業として「家屋内外の泥かき」「流れ着いた大木などの撤去や清掃」「写真洗浄」「ビニールハウスの撤去・清掃」「朝市でのお手伝い」があり、「家屋内外の泥かき」では、水分を含んだ泥を片付けるため45分から50分作業を行い、10分休憩をとるといったペースで行わないと体力が持たないという話や、「写真洗浄」では、思い出がたくさんつまった写真を綺麗に洗浄することで現地の人々から大変感謝されたこと、「写真洗浄」が世界的にも珍しい技術であり、世界中から取材に来ていたとのお話をありました。

発表の後半では、今後起こりうる津波・地震などの災害に対しての備えとして、「家庭内の準備」「近隣の方との助け合い」が大切とし、「災害が起きたら守るのは自分自身である」とことや「備えよ常に」の精神を持つことが重要であるとお話をされていました。

→海岸の様子



←泥かき作業



→写真洗浄



(2) 東日本大震災と神奈川県内地震との関係について (温泉地学研究所 伊東 博さん)



伊東 博さん

はじめに、昨年3月11日に発生した東日本大震災のメカニズムが紹介され、今回の地震により東へ5メートル以上移動し、1メートル沈むといった地殻変動が起き、真鶴町の真鶴港では、最大90センチの引き波が発生し、津波は数日間続いたことが発表されました。

また、神奈川県西部を震源とした地震はおよそ70年に1度発生しているが、1923年以来90年近く地震が発生していないことや、今回の震災により各地で大きな地震の発生確率が高まっているという報告がありました。

(※)小田原市地域活動推進協議会とは

小田原市内の地域活動団体が相互に連絡協調を保ち、それぞれの団体活動及び各地域の活性化を目的とし設立された団体です。

(加入団体)

小田原市民生委員児童委員協議会、小田原市青少年健全育成連絡協議会、小田原市P T A連絡協議会、小田原市老人クラブ連合会、小田原市子ども会連絡

協議会、小田原市青少年育成推進員協議会、小田原市地域婦人団体連絡協議会、小田原市健康おだわら普及員連絡会、小田原市地区社会福祉協議会連絡協議会、小田原市消防団本部、小田原少年補導員連絡会、防犯指導員協議会小田原支部、財団法人小田原市体育協会、社団法人小田原青年会議所、小田原市自治会連合

福島県相馬市区長会会長の講演を開催

～自治会長が相馬市区長会に義援金を寄付～

平成23年10月5日、自治会長大会が行われた席上において、福島県相馬市区長会（自治会）会長の飯土井光毅氏をお招きし、東日本大震災発災当時の様子、現在の状況、復興に向けての課題等についての講演がありました。

東日本大震災発災当時の様子として、津波が襲来したときや必死に避難する住民の状況、また、住民にアンケート調査を実施し要望をとりまとめ、相馬市と連携をとりながら復興を進めていくというお話がありました。

同じ自治会長という立場もあることから、講演終了後は大きな拍手が起き、総連合として、相馬市区長会を支援していくこうという意気込みが感じられました。

また、区長会の支援を目的に自治会長が募金を集め、総額257,000円を相馬市区長会に寄付をいたしました。



講演をされる飯土井会長

○自治会長大会

【自治会活動功労者】

1. 通算して6年以上地区自治会長の職にあって退任した者

連合名	自治会名	氏名(敬称略)
酒匂・小八幡	酒匂11区	(故)栗田和雄
新玉	大工町	門松 俊二
東富水	蓮正寺第4	照井 繁
久野	和留沢	釣巻 榮助
大窪	第60区	荻野 晃男
国府津	国府津第6区	柴山 公平
片浦	江之浦	森本 俊行

市及び自治会総連合からの表彰について

平成23年10月5日に自治会活動に功労のあった次の方々が表彰されました。

連合名	自治会名	氏名(敬称略)
新玉	第9区	小林 康男
幸	第23区	(故) 加藤條一
東富水	狩川	永森 修司
国府津	国府津第13区	中川 榮一
酒匂・小八幡	酒匂3区	鈴木 利徳
橋南	中宿	廣澤 朗光
橋北	中村原第6区	川野 泰明

2. 地区自治会長経験者であり、会長、副会長、会計を通算して8年以上在任し、退任した者

連合名	自治会名	氏名(敬称略)
芦子	中谷津	木村八重子
芦子	下谷津	平井亀之助
富水	小台	中島 秀晃
大窪	第58区	津田 好一
山王網一色	山王東	古谷 登

連合名	自治会名	氏名(敬称略)
山王網一色	山王西	常盤 秀一
下府中	下堀	志村 學
下府中	鴨宮4区-2	保田 幸雄
下府中	南鴨宮1区	小嶋 憲司

3. 地区自治会副会長及び会計を通算して10年以上在任し、退任した者

連合名	自治会名	氏名(敬称略)
緑	駅前第2区	荒井 隼雄
新玉	第12区	藤間 修平
万年	第19区	入野愛次郎
幸	第22区	(故)木村雅彦
十字	第32区	勝俣 光喜
久野	和留沢	廣川 登
山王網一色	山王70区	小澤 正宣
山王網一色	網一色	内藤 秀男

連合名	自治会名	氏名(敬称略)
下府中	南鴨宮3区	飛田 慎一
桜井	東栢山学校前	飯田 文義
国府津	国府津第2区	三上 雅敏
国府津	国府津第15区	内田 和彦
酒匂・小八幡	酒匂7区	須藤 英重
酒匂・小八幡	酒匂7区	鈴木 幸
酒匂・小八幡	酒匂12区	新海 隆夫

【自治会総連合活動功労者】

●1年以上自治会総連合の会長、副会長若しくは会計又は理事若しくは監事の職にあって退任した者

連合名	自治会名	氏名(敬称略)
酒匂・小八幡	酒匂11区	(故)栗田和雄

【小田原市地域活動功労表彰】

(功労者)地域活動を顕著に行い、地区自治会の加入の促進に尽力した地区自治会連合会長職8年若しくは地区自治会長職12年以上のもの

連合名	自治会名	氏名(敬称略)
芦子	入谷津	山田 義衛
東富水	蓮正寺第4	照井 繁
東富水	蓮正寺住宅	吉葉 茂樹
久野	和留沢	釣巻 榮助

(功労団体)地域活動が活発で、地域づくりに顕著な功労があった地区自治会または地区自治会連合会

団体名(敬称略)
片浦地区自治会連合会
曾我地区自治会連合会
橋北地区自治会連合会

第46回 小田原市自治会長大会



また、次の大会宣言を参加者全員で唱和し、地域の力を高めていくことを再確認いたしました。

- 一 住民・各種団体との連携を強めよう！
- 一 安心安全運動を通じて、明るく住みよい地域にしよう！
- 一 防犯・防災意識の高い地域にしよう！
- 一 環境にやさしい地域をつくろう！
- 一 自治会はすべての地域活動の先頭に立とう！

市内各マンション代表者との意見交換会について

平成23年11月27日（土）、マンション住民の方々と「災害問題」を始め、「防犯問題」、「高齢者問題」、「子ども問題」など様々な角度から連携を図るため、マンション代表者の方と総連合の意見交換会が、市役所にて行われました。

参加者からは、津波の一時避難施設や防災マップについて、自治会への加盟や自治会費の徴収、側溝の清掃などについての議論が交わされ、マンションと総連合、マンション同士の連携も図ることができ、有意義な会議となりました。

今後も、市内各マンション代表者との意見交換会を開催し、マンションの方々とのコミュニケーションや連携を図ってまいります。



小田原市自治基本条例の施行について



平成24年1月1日、小田原市自治基本条例が施行されました。

この条例は、市民がより一層生き生きと暮らし続けられるまちにしていくために、みんなが目指すべき目標やまちづくりを進めるための基本的な考え方方が書かれているまちづくりの指針となるものです。

小田原市は地域活動や市民活動による自主的な市民参加型のまちづくりを目指していくことになりますが、自治会活動は地域活動の中心的な役割を担っていくと考えられます。

自治会では、今後も、住民の安全を確保するために「安心安全まちづくり運動」を推進し、明るく暮らしやすい地域社会づくりを進めるため、また、自治会総連合は、自治会相互の連絡協調を保ち、地域社会の向上を図って活動していきます。

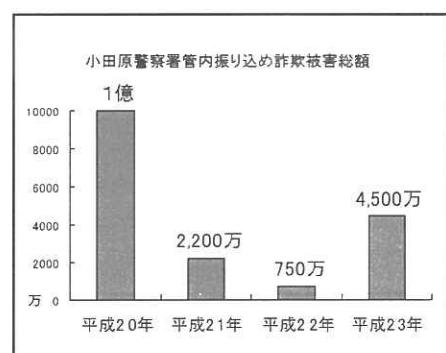
振り込め詐欺にご注意を！

平成23年に小田原警察署管内で発生した振り込め詐欺の発生件数は11件で、被害総額は約4,500万円でした。手口は息子を名乗る犯人が、会社でのトラブルや浮気相手の妊娠中絶費用など、人には知られたくない内容でお金を要求します。

振り込め詐欺は金融機関やATMから振り込ませるだけでなく、自

宅にキャッシュカードを受け取りに来たり、自宅近くの路上などで現金を受け渡す被害も発生しています。11件の振り込め詐欺の被害の内、6件は直接現金を手渡したものです。

振り込め詐欺は親心を逆手にとった卑劣な犯罪です。日ごろから家族や地域での絆を強め、振り込め詐欺の被害を防止しましょう。



※総連合へのご意見・ご要望があれば総連合事務局までお問い合わせください。

編集・発行 小田原市自治会総連合

広報組織部会（部会長）鈴木晴夫（部会員）飯田和男 福田光好 岩切信一郎 小宮正雄

連絡先 自治会総連合事務局（地域政策課）33-1457